

2024 年 11 月幹事会 セミナー幹事資料

1. 2025 年（第 29 回）薬物動態談話会セミナー準備の進捗報告

1.1 候補施設に関する進捗

<9 月幹事会での承認事項>

日程・施設の第 1 候補

日程：2025 年 8 月 27 日（水）～8 月 29 日（金）

施設：東レ総合研修センター（新幹線・東海道線 三島駅より徒歩 12 分）

メイン会場（部屋）：大研修室（460m²：スクール形式での配置となる。）

※ 2025 年 1 月から正式な予約が可能（それまでは、東レ社内の研修が優先される）。2024 年 12 月くらいに、東レ社内の研修スケジュールが判明する予定で、2025 年の空き状況の確認ができるとのこと。

第 1 候補が不可場合の対応

- 第 1 候補の日程が空いていない場合、その周辺の 3 日間についても、施設の空き状況を見て開催を検討する。
- 第 1 候補の大研修室（スクール形式）が空いていない場合、大講堂（515m²：シアター形式の部屋）の使用も検討する（RTD は別の部屋を確保する）。
⇒施設に伝達。「大講堂も含めた 8/20（水）～9/12（金）の期間の平日」の空き状況についても 12 月に確認できることになった。

その他の施設の候補

その他の施設の候補として湘南国際村センター（JR 線 逗子駅/京急線 逗子・葉山駅からバスで 20～30 分）を 2025 年 8 月 27 日（水）～8 月 29 日（金）の日程で仮予約済。

⇒仮予約を 2025 年 1 月まで延長。

1.2 2024 年（第 28 回）薬物動態談話会セミナーの振り返り

<2024 年度より試みた部分の振り返り>

- ① 立食パーティー（懇親会）は 1 日目の夜のみ。2 日目の夜は着席での夕食。
- 2 日目が着席での夕食であったことにより、交流が不十分であったというコメントは無く、交流の時間・スタイルについてはポジティブな意見が多かった（十分な交流できたという意見が多数）。

以下のこともポジティブな意見の要因として考えられる。

- 2 次会での発表資料作りがなかった。

- 2日目の着席夕食後の2次会への移行がスムーズで、2次会参加者も多かった。

アンケートより抜粋

- ✧ 飲み会での交流の時間が大変有意義であったと感じた。普段学会等で見かけても中々ゆっくりと話せる機会がなかったので、この飲み会で実現できて嬉しい。
- ✧ 他社の若手～中堅の研究員の方と交流する時間が多く設けられており、他社の取り組みや、どんなことに悩んでいるかなどの情報を共有できた。
- ✧ 合宿形式であることで、自分と社歴の近い他社の方々とフランクに意見交換することができたこともよかった。
- ✧ 先生方や他社の方との交流が十分にできる環境を整えていただいた。
- ✧ 講師の方と直接対話する機会があり、気軽に会話することができる良い機会であった。
- ✧ 飲み会中に資料など作らないと終わらないなど先輩より聞いていたが、今回のようにその日ごとに完結して夜は交流を楽しめるといったようにメリハリがついていてとても楽しかった。

② RTDを基礎（1グループ）と応用（2グループ）に分ける。RTDを2回実施する（スケジュール変更のため2回目は未実施）。

- 基礎と応用でグループを分けたことについては、「基礎のグループがあって良かった」「同程度の経験を持つ人との議論が可能で良かった」「応用の課題にまで到達できて良かった」など、ポジティブな意見が多かった。
- 一方で、「基礎が想像以上に基礎の内容であった」「応用の課題が難しかった」「メンバーの経験が浅く議論がうまく進まなかった」など、事前アンケートでの適切なグループ分けは難しかったようで、課題が残る。
- 予定通りRTDを2回実施してみたかったというスケジュール変更を惜しむ意見、短めで良いのでRTDを2回実施するのが良い、という意見あり。
- 一方で、RTDを2回実施することによるタイムスケジュールへの影響（休憩時間が少ない、最終日の終了時間が遅い等）については、来年度の施設へのアクセス等も含め検討が必要。

アンケートより抜粋

- ✧ 基礎の部分を復習することができて理解が深まった。
- ✧ 基礎と応用で分かれていたところがよかった。飲み会まで議論を持ち越さないのもよかった。
- ✧ 同程度の経験を持つメンバーが固まっていたため、主導権が偏ることなく同じ目線で議論ができた。経験不足により表面的な議論にとどまりつつあったが、チューター

の先生方のサポートにより議論の深化につながった。

- ✧ 自分の知識がグループの他の方と比べ大分劣っていたため、積極的にディスカッションに参加できず申し訳なかったが、「基礎講座」として基本的な内容やチューターの先生の講演での疑問点を伺うことができ、大変有難い場であった。
 - ✧ じっくり時間をかけて講義を理解することができ、応用の課題まで到達できた。
 - ✦ 基礎が想像以上に基礎の内容だった。
 - ✦ RTD の内容が想像していたよりも難しかったが、メンバーとチューターの先生に協力いただきながら課題に取り組めたことがよかった。
 - ✦ 応用グループであったが、自分も含めて中枢領域での業務経験が浅い参加者も多かったため、議論が進みづらいと感じる場面も多かった。(沢山の参加者がおられる中、簡単なアンケートでグループを割り振るのは非常に難しいことだったと思う。参加登録時のアンケート項目を、大学での研究テーマ、普段担当の業務などをもう少し詳細にするとよいのかなと感じた。)
 - ✦ 与えられた課題に対して自分を含めたグループ全体の知識が薄かったために、深い議論をすることができなかった点は残念であった。
-
- ✧ 予定どおり 2 回目の RTD が実施できたらさらによかったと思う。
 - ✧ 短い RTD を 2 回行う今回の形式は、広く浅くの理解にはとどまるものの交流と議論がはっきり分かれていて若手の立場としてはとてもやりやすかった。次回以降フルで実施した後の状況、感想次第で継続していただければと思う。
 - ✧ 去年も参加したが、一度の談話会の中で 1 テーマについて議論するより、異なる 2 テーマについて議論できる方が収穫があると感じた。
 - ✧ RTD の時間が短いかと思っていたが、実際に行うと十分に感じ、より知識の幅を広げることを目的として参加する場合は、2 回実施するこの形式は良いと思った。
 - ✦ 会場のアクセスが悪いので、最終日は午前中で終了にしてほしい。
 - ✦ 講義と夕食又は夕食と飲み会の間に 30 分~1 時間ほどの休憩があるといいのかなと思った。個人的にもスケジュールが詰まっているなと感じたのと、ほかのグループメンバーの方もそうおっしゃっていたので、一息つく暇があってもいいのかなと思った。